

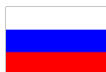
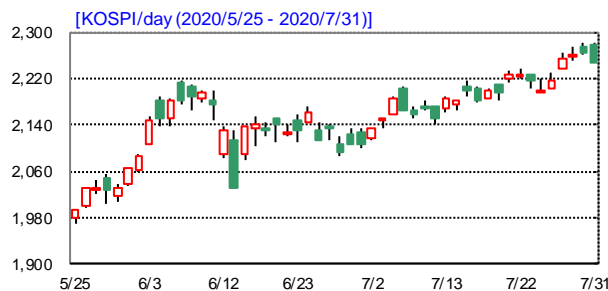


## 【韓国】 総合指数は週間で 2.2%高と反発、今週は年初来高値が視野に

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 2.2%高と反発。買い先行の展開となった。週初の 27 日に上昇して始まると、30 日まで 4 日続伸。主力銘柄のサムスン電子が大きく買われ、相場の上げを主導した。米半導体大手のインテルが次世代 CPU（中央演算処理装置）の販売が遅れるとの見通しを示したことで、サムスン電子に受注拡大の期待が高まった。このほか、ハイテク大手が好業績を発表したことも相場の支えとなった。指数は 30 日に終値ベースで今年 1 月 22 日に付けた年初来高値に接近。ただ、高値警戒の売りが強まった 31 日は下落した。今週は年初来高値が視野に入るものの、新型コロナウイルスの感染拡大や米中関係の動向には要注意。国内の経済指標では、7 月の製造業購買担当者景気指数（PMI）や CPI が発表される予定。

▼指数チャート

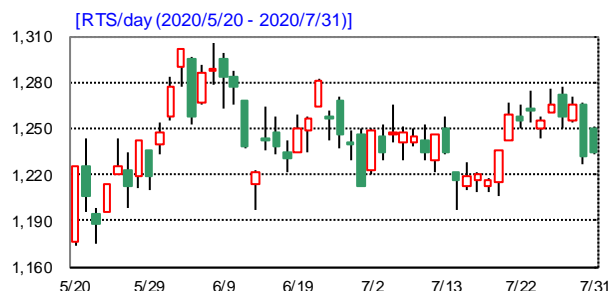


## 【ロシア】 RTS 指数は 1.7%安と反落、今週も原油と為替に左右される展開か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 1.7%安と反落。週明け 27 日は原油安とルーブル安の中、欧米株高を追い風に指数は反発した。28-29 日は原油相場をにらんでもみ合ったが、30 日は前日比 2.7%安と大幅に反落。原油相場の下落に加え、ドイツと米国の 4-6 月期 GDP の悪化を受けて欧米株が下落し、RTS 指数にも波及した。31 日は小幅に反発している。個別では金相場の上昇を好感し、産金のポリュスが 11.0%高、ポリメタル・インターナショナルが 10.1%高で、金融のズベルバンク・オブ・ロシア優先株と資源のノリスル・ニッケルが 3%超上昇。一方、アエロフロート・ロシア航空が 5.8%安で、エネルギーのスルグトネフテガスが 2.5%安、タトネフチが 1.8%安、ガスプロムが 1.8%安だった。今週も原油や為替に左右されるか。

▼指数チャート

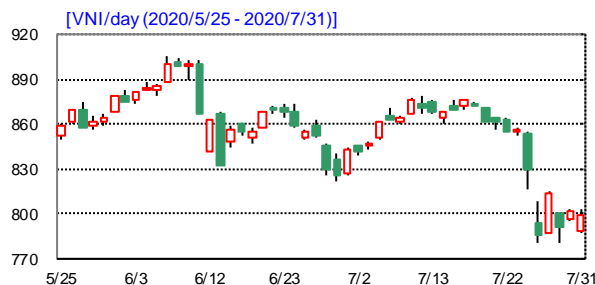


## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 3.7%安と続落、今週も新型コロナ拡大が重しか

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 3.7%安と続落。国内で 3 カ月ぶりに新型コロナウイルスの市中感染者が確認され、前週末に 3%超下落した指数は、週末に感染者数がさらに増加し、経済活動への影響が懸念されたことで、週明け 27 日は前週末比で 5.3%安と急落した。28 日は押し目買いが入り、指数は 3.6%高と急反発したが、29 日も新型コロナの新規感染者数が増加したことで 2.8%安と反落。週後半は上下にもみ合ったが、週間ベースで続落し、2 週間の下落率は 8.4%となった。個別では飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が 7.2%安、エネルギーのベトナム石油総社が 7.0%安、金融のテクコムバンクが 6.9%安、ベトコムバンクが 5.7%安、ベトインバンクが 4.7%安だった。今週は国内でのコロナ感染拡大懸念が引き続き重しとなるか。

▼指数チャート



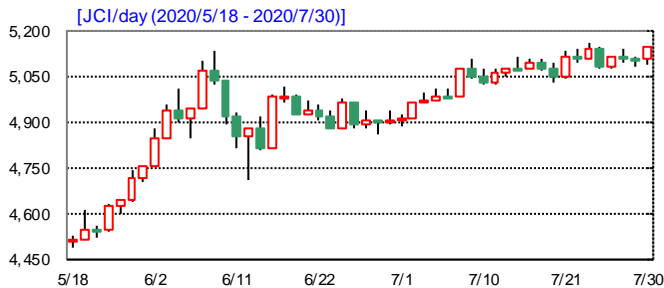


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.3%高、今週は 5 日に 4-6 月期の GDP 発表**

ジャカルタ総合指数は 4 日間の取引で 1.3%高と 5 週続伸。7 月月間では 5.0%高。先週は国内の経済イベントが少ない中、週末の反発が奏功した。週初の 27 日は、前週末に下落した反動で金融株を中心に買い戻されたものの、28 日は国内の新型コロナウイルスの感染者数が 10 万人を超えた影響で小幅に反落。29 日もほぼ横ばいの値動きだったが、30 日は 4 日ぶりに反発して連休前の取引を終えている。今週は 3 日に 7 月の CPI 上昇率、5 日に 4-6 月期の GDP が発表される予定。GDP は前年同期比でマイナス成長に転落する可能性が有力視される中、下落率が市場予想の範囲内に収まるかが指数を左右しそうだ。

### ▼指数チャート

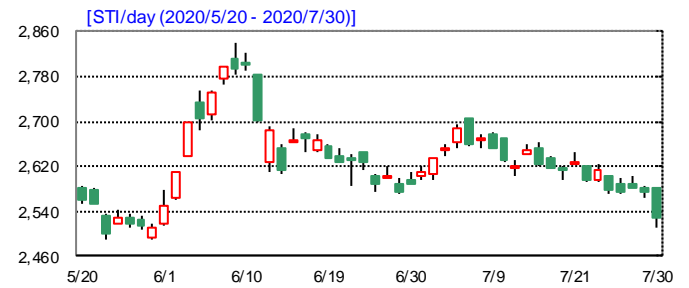


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.9%安、金融通貨庁が国内銀行に減配を要請**

ストレーツタイムズ指数は 4 日間の取引で 1.9%安と 4 週続落。7 月月間では 2.3%安。先週は週末の下落が痛手だった。週初の 27 日は前週末の NY ダウが下落した流れで続落。その後は 29 日まで小幅なレンジでの値動きが続いたが、30 日は金融通貨庁が国内銀行に対し、今年の配当を前年の 60%以下に抑制するよう要請した影響で関連株が売られたほか、シンガポール航空も前日に発表した 4-6 月期決算で約 857 億円の最終損失を計上したことが売り材料となり、指数は終値ベースで前日比 1.7%安と続落して引けている。今週は 3 日の取引終了後に 7 月の製造業 PMI、5 日に 6 月の小売売上高が発表される予定。

### ▼指数チャート

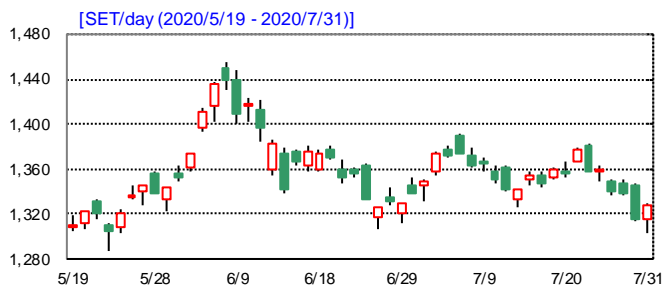


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.9%安、財務省が今年の経済成長率見通しを下方修正**

SET 指数は 3 日間の取引で 0.9%安と続落。7 月月間では 0.8%安。先週は週末に反発したが補えなかった。連休明けの 29 日は、米 FOMC 閉会後のパウエル FRB 議長の見会を控えた様子で小幅に続落。30 日は財務省が今年の経済成長率見通しについて、1 月時点での 2.8%からマイナス 8.5%に下方修正した影響で金融株を中心に幅広い銘柄が売られ、指数は前日比 1.7%下落した。一方、31 日は近隣諸国が休場となる中、反動で買い戻され、4 日ぶりに反発して引けている。今週は 5 日に 7 月の CPI が発表されるほか、中央銀行が定例会合を開催する予定で、政策金利は 0.5%に据え置かれるとの見方が優勢。

### ▼指数チャート

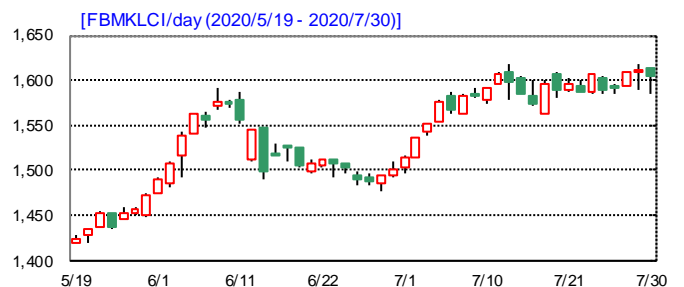


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.9%高、6 月の輸出は前年同月比 8.8%増**

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 0.9%高と反発。7 月月間では 6.8%高。先週は連休前の反落が上昇幅を縮めた。週初の 27 日は、4 月に 6 カ月間の時限措置として発効された銀行融資の返済猶予の一部が 10 月以降も継続するとの見方が広がり、業績悪化の加速が懸念される銀行株が下落したものの、引け際にゴム手袋メーカー株が買われた効果で指数は小幅に反発。28 日は 6 月の輸出額が前年同期比 8.8%増と市場予想を上回ったことが買い材料視されて前日比 1.2%高と続伸した。29 日も買い優勢の展開が続いたが、30 日は 4 日ぶりに反落している。今週は 7 日に 6 月の鉱工業生産が発表される予定。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。